ブッカーを使わない整本(事前補強)の方法

【用意するもの】

1. ステープラ

参考 製本用ホッチキス (埼玉福祉会) 22,000 円 160 枚 厚綴じホチキス (キハラ) 22,000 円 160 枚 強力製本用綴機 (規文堂) 28,000 円 15mm フラットステープラ (コクヨ) 20,000 円 130 枚

- 2. 木工用ボンド (コニシ・速乾タイプ) と水のり 木工用ボンドに水のりを 2 割加えたものを作っておくと便利
- 3. スポンジ・竹串・万能ボンド
 - ① スポンジ (水に強いタイプ) をカッターやはさみで切る
 - ② スポンジに切り込みを入れる
 - ③ 切り込みにボンドを塗り、竹串を刺す。
 - ④ 作れない人には、医療用口内洗浄スポンジ 1本60円位が おすすめ。
- 4. タオル
- 5. ブッカーの台紙
- 6. 布テープ (のど用) ページヘルパーでも可能

【ソフトカバーの場合】



図1: ステープラで2~3箇所留める。 【留める際は表裏逆から留める】

図2: 留めたホッチキスを金槌で平らに する。【カバーを破らない為】





図3:

カバーを切断する。

- ・ 上下を少し切断し、カバーを本より小さくする。←切り過ぎに注意【本より大きいと上下からめくれる為】
- ブックポケットをつける際はカバーの折込の部分を切断する。



図 4: カバーの背に折り目をつける。

図5:

スポンジに竹串を挿した物で、木工用ボンドを本の背とその周辺(両側)に付け、 カバーの位置を調整しつつ糊付けする。

> ボンドが付きにくい 時はサンドペーパー (紙やすり)で先に磨 いておく。紙の粉は濡 れタオルでふき取っ ておく。ボンドは濃い 目のタイプ





図6:

固く絞った濡れタオルで背の部分からはみ 出したボンドを拭き取る。

その後カバーの折り返しの部分(両側)にボンドを塗り、本に糊付けする。

【ハードカバーの場合】



図7:

カバーを切断する。

・ 上下を少し切断し、カバーを本より小さくする。←切り過ぎに注意【本より大きいと上下からめくれる為】

図8:

スポンジに竹串を挿した物で、木工用ボンドを本の背に付けカバーの位置を調整 しつつ糊付けする。



図 9

木工用ボンドを本の背の周辺(両側)に付ける。



図10: カバーの表から背の横の窪みに合わせ て定規で跡を付けカバーを密着させる。

図11:本の淵にボンドをしっかり付け、残りの部分は軽く付ける。





図 12: 折り返しの部分にもボンドを付け、カバー を貼り付ける。

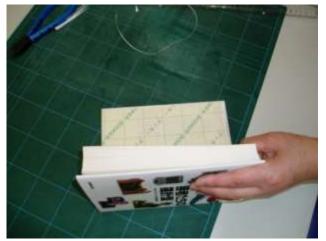


図 13:

ラベルキーパーの使い終えたシートをボンドがくっつくのを防ぐ為、本とカバーの間に挟む。

図14: よく読まれる本には、折り目の所に布テープ(ページヘルパーでも可)で補強しておくと良い。

